

下田南地区振興会だより

会報 小田床



平成23年度 振興会総会開催

4月13日(水)、
下田南公民館で平成23年度下田南地区振興会運営委員会総会を開催しました。平成22年度の事業経過及び決算報告、平成23年度の事業計画・予算案など2議案



真剣な眼差しで資料に目を通す、運営委員の皆さん。2議案が拍手にて承認されました。

を提案し、46名(内委任状13名)の運営委員により承認されました。上野会長からは、「平成22年度もたくさんのおかげで無事に実施できました。新規事業としては老人会のサロン、夏の韓国文化交流と1月の踊り愛好会メンバー訪問など。天草ふるさと家族便、天草ブルーガーデン、堆肥作りを組み合わせて地域振興に役立てていきたいと思うが、利益を上げるまでにはなお一層の努力が必要と感じています。」

■発行 第22号■
【発行責任者】
下田南地区振興会
副会長 中村敬司
宇土真紀子
【連絡先】
下田南公民館
42-3612

とあいさつがありました。また、来賓として山口天草支所長、椎木総務市民課長にご出席いただき、山口天草支所長からは、「下田南地区振興会の活発な活動に対し、お礼申し上げます。小学校の統合については下田南地区には重い決断をいただいた。天草ふるさと家族便、天草ブルーガーデンについては同様の取り組みを天草全体に広げて欲しいと思います。平成23年度の機構改革により、支所は総務市民課の設置、天草分室の廃止(南部分室へ)などが行われています。ご理解をいただきたい。地域じくろが楽しく、負担のないように、益々発展していくことを祈ります。(一部省略)」とお言葉をいただきました。

平成23年度もスタートしました。地域が益々、住みよい健実で豊かな活気のある地区となるよう、地区民一致団結して頑張らしましょう。今年度も皆さま方のご協力をよろしくお願いいたします。



4月の異動辞令で下田南小学校の校長先生として就任されました、小出校長先生にもご挨拶を賜りました。

7〜10月の主な行事

7月21日〜8月31日
ラジオ体操キャンペーン

8月1・3・5日 防犯パトロール

8月7日 街路竹とんすく事業

8月13〜15日 竹とんすく設置期間

8月21日 PTA 磨品回収

9月11日 敬老会

9月16日 運動会前除草作業

9月18日 十五社宮例大祭

9月25日 総合運動会

10月9日 クリーン作戦

10月10日 球技大会

※中央区は10月2日にクリーン作戦を実施

振興会からお知らせ

昨年度、実施できなかった事業のひとつに、年度行事力レンドー作成事業があります。これは、地域の各種団体(振興会、南小、南小PTA、妙見老人クラブなど)の年度行事をひとつにまとめた便利力レンドーの作成事業です。皆さんへの提供が少々遅くなりましたが、来年3月までの行事が予定として網羅されており、目に届きやすい場所に掲げていただき、「活用ください。」また、いきいきサロン事業では、新たにサロンに参加したい希望者を募集しています。(募集要項は、6月1日のチラシに掲載しています)皆さんのご参加をお待ちしております。

※行事の日付は、確定ではなく未定のものも有ります。

ミニバレー大会開催!

→全勝で優勝した、白石和彦さんチーム! チームメンバーは、桁山夫妻、佃恵美子さん、小出校長先生でした!



←数本さんチーム。白石さんのレシーブは…決まったのか!? 珍プレー好プレーで会場は大賑わい!

5月21日(土)、下田南小学校体育館で下田南地区ミニバレー大会を開催しました。今年も、4チームによる総当たり方式(1試合10分間の時間制限)で行い、残り時間を意識しながらの点取りゲームとなりました。老若男女全員が奮闘した、白熱した見応えのある試合となりました。最後はお楽しみ抽選会を実施し、総計32点の品が、応援者まで含めた32名全員に当たり、小予算ながら冠どおりの楽しい抽選会となりました。また、今大会のテーマであった、「和気あいあいと楽しく健康づくり」は、みんな



ご協力、有難うございました。
【鬼海広明】

★最後に今大会の成績は…
優勝 白石和彦さんチーム
準優勝 中村敬司さんチーム
三位 鬼海敬三さんチーム
でした。



↑鬼海敬三さんチームは三位! さま、応援者の皆さま、本当に疲れ様でした。また、来年も頑張りましょう!



↑準優勝の中村敬司さんチーム! なの笑顔と汗で達成できたのではないかと思います。外は小雨がふる天候でしたが、足を運んでいただきました選手の皆さま、応援者の皆さま、本当に疲れ様でした。また、来年も頑張りましょう!

花いっぱい運動 300本のコントラストをどうぞ!

5月17日(火)、公民館外庭において本年度第1回目の花苗の植え付け作業を行いました。すでに花壇の周りにはガザニアが花をつけていますが、今回は花壇の中心部とプランターに3種類300本の



↑プランターへの植え付け作業中。国道沿いがフラワーロードへ生まれ変わる?!

の苗を植え付けです。オレンジの花をつけ、真っ直ぐに立つマリーゴールド。やさしく風に揺れるピンク、白、紫のペチュニア。まだつぼみのままで、はすかしげに微笑むポーチュラカ。花々の見事なコントラストに心が和みます。今回は、南小の全児童と先生方、そして妙見老人クラブの方々の多数のご協力もあり、作業は予定より短時間で終了しました。土おこしから水やりまで、子どもたちはきびきびと上手に手伝ってくれました。老人クラブの方々には、花づくりのノウハウにお知恵を拝借。貴重な体験をさせていただきました。皆さま大変お疲れ様でした。【白石宣子】



←花づくりに欠かせない、土づくり。堆肥施設でできた堆肥を土と混ぜ合わせる作業です。上野会長を中心に、児童たちも手際よく作業を行いました。

ジャガジャガ祭 グラウンドゴルフ大会

結果は…?!



入賞は・・・(181名中)
1位…白石謙二さん(小田床チーム)
2位…若松米雄さん(若松チーム)
7位…長尾稻香さん(若松チーム)でした!
素晴らしい結果です!
おめでとうございます!

5月8日(日)、大江お万ヶ池公園でジャガジャガ祭恒例イベントのグラウンドゴルフ大会が開催されました。総勢27チーム、181名の参加者の内、下田南地区からは5チーム、34名が参加。個人順位では入賞となる10位以内に3名の方が入るといった嬉しい結果となりました!

下田南小学校から 校長先生のご挨拶



昭和50年、3月に大江中学校を卒業して以来、天草町に帰ってきました。あの頃西海岸に沈む美しい夕陽を眺めながら、自らの未来への志を立てながら、夢ある中学時代を過ごしました。それを指導してくれた恩師が、ここ下田南の出身の岩崎伸治先生(元苓北中学校長)です。そして、今、私が小田床の海岸をジョギングしながら、西海岸に沈む夕陽に、明日への希望を抱きながら、下田南小学校の子どもたちの未来への夢や希望を叶えるためにこの学校に赴任してきました。天草の子どもたちのために、教育は脈々と受け継がれています。偶然にはあまにも素敵な巡り合わせです。私の教育のキーワードは「10人の学校から100の力を発信！」(意外なことのできる自分づくり・自分のよさを再発見・今までと違う自分探しの旅)です。10人の子どもたちがそれぞれの個性を發揮し、汗だくで躍動し、輝く姿になるように「学校と家庭と地域」で支援していきましょ。皆様のご協力・ご支援・ご理解をお願いいたします。

【小出廣久】

PTA会長から ご挨拶



平成23年度、PTA会長を務めます石松徹です。日頃より地域の皆様には温かく見守っていただき、保護者を代表して厚くお礼申し上げます。また先日、あいにくの雨の中での実施となりましたが、廃品回収へのご協力ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。児童、保護者共に限られた人数であり、下田南小として活動する期間も残り少なくなりました。が、持ち前のチームワークのよさで精一杯頑張りたいと思いますので、今後とも引き続きご支援・ご指導のほど、よろしくお願いたします。



↑ 廃品回収後、笑顔で記念撮影!

【石松 徹】

下田南小学校 新しく着任された先生方へ インタビュー!



- ①名前(職名)
- ②先生のふるさは?
- ③趣味・特技
- ④南小でやってみたいことは?
- ⑤先生のチャームポイントは?

- ①小出廣久(校長)
- ②天草町大江(天主堂の下)
- ③ジョギング・ソフトテニス・サウナ
- ④十人の学校だからこそできる教育活動、教育の枠からはみだした学校教育
- ⑤日焼けした笑顔

- ①松本隼人(学習指導補助教員)
- ②五和町御領
- ③野球観戦・除草作業
- ④自分自身が陸上競技に精通していたこともあり、今年度は全員のマラソン大会の記録が大幅にぬり替えられるよう、指導を頑張ります。あと草刈りも。
- ⑤くせ毛・肌の黒さ

- ①福本優子(学習指導補助教員)
- ②牛深
- ③パソコン・バスケットボール
- ④子どもたちのように上手に一輪車に乗れるようになりたいです。小学生の時は乗ってたはずなのに...
- ⑤父から継承された、低くてぴっしゃげた鼻です。

- ①林田祐樹(事務補助)
- ②天草町大江
- ③野球・ソフトテニス
- ④子ども達が自分の学校はとてもしゃべりだと思えるような環境を作りたい。
- ⑤ウォーターベッドのようなお腹

- ①股野梨江子(学校主事)
- ②天草町大江
- ③窯元めぐり・ドライブ・バレーボール
- ④児童・職員と少ないですが、何事にもチャレンジしたいと思っています。地域の方々との交流の場に参加して、色々勉強やいい経験ができたと思います。
- ⑤笑顔?!

よろしくおねがしませ



下田南小学校校長住宅にお世話になっております松岡里益（まつおかのりよし）と申します。出身は球磨の多良木町です。叔母が、楠浦に住んでいましたので、子どもの頃はよく遊びに来ていました。職場は朽宇土小学校です。通勤距離はありますが、毎日、西海岸の絶景を楽しみながら通勤できることを嬉しく思っております。

4月に下田での生活が始まったわけですが、地域の方々の優しさに触れることができ、日々楽しい生活を送っております。できる限り、地域の行事等にも参加させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

ちなみに、せっかく天草に来ましたので魚釣りを覚えたいと思っております。どなたか師匠になって教えていただければ有り難いです。
【松岡里益】

振興会からお知らせ

平成20年度から会長を務めていただきました上野寛利さんが、4月28日に一身上の都合で辞任届を提出され、5月18日の役員会において承認されました。これまで振興会を力強く牽引して頂きましたことに振興会一同敬意を払います。大変お疲れ様でした。今年度は、中村敬司副会長と宇土眞紀子副会長が会長職代行となります。

私の災害ボランティア体験記 東日本大震災ボランティア活動レポート

3月11日に発生した東日本大震災。テレビでは連日現地からの痛ましいレポート。インタビューの中で、ある市長さんが「ボランティアが足りない」と、その一言に私は「被災者のために何か少しでも役にたたい」とその心からのスタートであった。早速、インターネットでボランティア情報を調べると、岩手県社会福祉協議会の主催で盛岡市内から被災地にボランティアバス（ボラバス）が出ることがわかった。

4月12日の午後熊本を出発し、翌朝6時前に岩手県盛岡市に到着した。そこに同じ志を持った約80名が集まり、バス2台で太平洋沿岸宮古市の南に位置する「山田町」を目指した。3時間後、ボランティアセンターに到着。現地の被災状況の説明を受け、班ごとに打ち合わせを行い、活動を開始した。初日は民宿の後片付け作業。民宿といっても基礎部分を残して、建物は50mほど先の斜面に横たわっており、一帯には血やコップの破片、タンスなどありとあらゆる物が散乱し、足の踏み場もないくらいであった。その中で使えるものや廃棄するものを分別し、片付ける地道な作業を行った。夕刻、作業も終わりととなり、泥の中から出てきた郵便物やアルバム写真など思い出の品々を家主さんに渡すと、おばちゃんも疲れきった顔から涙ながらに「ありがとう。民宿は再開できるかわからないけど、もし再開できたら遊びに来て」という話に一同ゾーンとなった。私自身も「被災された方のために役にたてた」心からそう思えた最初の時でもあった。

それから10日間続けて、盛岡から毎日片道3時間かけてボラバスで山田町に通った。ボランティアの要請は水族館内の泥搬出や道路沿いの美化作業、救援物資の仕分けなどほぼ毎日変わる。慣れない作業に、帰りのバスの中ではクタクタになって寝て帰る毎日だった。そのような日々の中で、私が一番心に残ったのは山田北小学校の校庭復旧作業であった。小学校は海から1kmほどの場所にあり、校舎は浸水を免れたものの、段下の校庭には住宅や車などが崩れ、そしてヘドロの山と化していたようだ。その後、自衛隊により大きながれきの撤去までは行われていたが、ヘドロやガラスなどの破片はそのまま放置されたままで、児童たちは始業式もできずにいた。体育館は避難所となっており、子どもたちが安全に遊べ、ストレス発散のために走り回れる場所もない。「任せてください。子どもたちのため頑張ります！」と言ったものの、その作業は過酷そのものであった。広い校庭を地道に角スコップで表土を削り、一輪車で廃土していく作業。2班10人での地道な作業に疲労困憊、なかなかペースもあがらなかった。班長を任されていた私はかなり焦っていた。このままのペースではとうてい始業式には間に合わない。いろいろな思いが頭の中を駆け巡る中で、追い込まれるようにボランティアセンターの担当者に電話し増員要請をした。事情を説明するも難色を示したため、「とにかく現場を見に来てくれ！」と必死に伝えた。現場で担当者に状況を説明し、メンバー全員で熱い思いを伝えた。その思いが伝わり、翌日からバス1台40名すべてをこの現場に配置してくれることになった。心から安堵した。「これでどうにかなる」と。

それから3日間その体制が続く、作業はほぼ順調に進んだ。最終日は雨の中での作業で、一輪車が押してもぬかるみの中に沈んでなかなか進まない苦労もあったが、始業式前日に5日間にわたる復旧作業は無事に終了した。作業終了後、校長先生が「ありがとうございました。これで子どもたちを迎える準備が整いました。子どもたちの笑顔が目に見えます。」と、今までに見せなかった笑顔で話をしてくれた。実は被災当日、病気のた

め自宅で静養していた児童2名が亡くなっていた。それにもかかわらず、校長先生の気丈な振舞いに、我々メンバーの中には感極まり涙している者もいた。

今回のボランティア活動では被災地の悲惨な光景に加え、テレビには映らない、異臭、ほこりなどを含めて五感すべてで現地を感じてきた。確かに最初は自己満足の感もあったかもしれない。しかし、被災地の皆さんの厳しい状況下でも必死に生きようとする姿を見て、日が経つごとに自分の中に生まれて初めて心から「人の役に立ちたい」というボランティア精神が着実に培われたとともに、自分の中にある人生観にも変化が生じた転機ともなった。

「神は乗り越えられない試練は与えない。まず一歩前へ！」これは、私が現地の伝言板に残してきた言葉である。心から被災地の復興を願うとともに、遠くに離れていても気持ちは一つに前に進んでいきたいと自らに誓い、言い聞かせた言葉だった。
【鬼海生典】

編集後記

先日、天中の運動会に行ってきました。南小出身の4人もたくましく成長しており、感動しました。応援団では、天中みんな東北の方、さらには日本を応援してくれました。自分たちのことだけでなく、大きく日本全体のことを考えられる人になっており、感無量です。家庭は小さな共同体ですが、さらに下田南という共同体、天草、熊本、そして日本、世界中が一つにまとまる時だと改めて考えさせられました。さて、下田南の校長住宅に新しく朽宇土小の松岡里益校長が入られました。南小の準会員にもなっております。除草作業などに積極的に参加して下さり、ありがたい限りです。魚釣りなど好奇心旺盛な先生です。下田南の新しい仲間として、皆さまよろしくお願いたします。【鬼海生典】

※鬼海生典さんのボランティア体験記の原文はもっと長文です。上記については、若干割愛させていただいております。全文については、今後、振興会HPに掲載予定です。